

## ISO/TC 68 国内委員会総会 議事録<sup>1</sup>

日時：2023年6月8日（木）13：00～17：30  
場所：日本銀行本店（Cisco Webex 会議）  
出席者：ISO/TC 68 国内委員会 松本委員長・委員・リエゾン・事務局  
日本銀行 武田決済機構局長、下田参事役 ほか

- 2023年6月8日に開催された ISO/TC 68 国内委員会総会の議事の模様は、以下のとおり（詳細は当日配付資料を一部抜粋した別添資料を参照）。

### 開会挨拶

ISO/TC 68 国内委員会委員長の松本横浜国立大学教授、日本銀行決済機構局の武田局長が開会挨拶を行った。

—— 松本委員長は、「金融業界では変化が激しい状況が続くが、委員の皆様がそうした変化を丁寧に捉えて議論して頂いているお陰で、総会資料は大変充実したものとなっている。日々の委員会活動や事務局の取り纏めに御礼申し上げる。本日の総会では、有意義な意見交換をお願いしたい」と述べた。

—— 武田局長は、「国際標準は社会において大きな役割を果たし得るツールであり、ISO/TC 68 国内委員会における皆様の日頃の活動に感謝申し上げます。金融業界のグローバルな発展に向けて、引き続き積極的な参画をお願いしたい」と述べた。

## 1. ISO/TC 68 の報告

### 1-1. SC2、1-2. SC8、1-3. SC9、1-4. TC68

最近の ISO/TC 68 の動向について、TC 68 および同傘下の WG・SG・AG 毎に、各国内作業部会の取り纏め役（もしくは事務局）から、策定中のドラフトや規格について、概要・経緯・足許の進捗状況・今後の作業スケジュールの報告項目について説明がなされた後、討議が行われた。

## 2. 委員会審議

<sup>1</sup> ISO（International Organization for Standardization：国際標準化機構）/ TC 68（Technical Committee 68：金融サービス専門委員会）は、金融業務に利用される情報通信技術や情報セキュリティ技術等の国際標準化を担当している。ISO/TC 68 国内委員会は、ISO/TC 68 所管の金融サービス分野における国際標準化について国内での審議および情報共有等を行うことを目的とし、本委員会の総会は議長を務める委員長が招集して年2回程度開催すること、本委員会の審議はこの総会において行うことを原則としており、議事については議事録を作成する（ISO/TC 68 国内委員会運営規約 <https://www.boj.or.jp/paym/iso/isotc68/data/kiyaku.pdf>）。

## 2-1. ISO/TC 68 国内委員会総会議事録（2022 年 12 月開催分）、2022 年度 ISO/TC 68 活動報告書

## 2-2. ISO/TC 68 国際投票案件（2022 年 12 月総会以降の進捗分、2023 年 6 月 1 日時点）

事務局より、前回総会以降にメール審議を実施した「前回総会議事録」、「2022 年度活動報告書」および国際投票案件<sup>2</sup>の状況について、確認を行った。

## 3. ISO/TC 68 関連の報告

### 3-1. ISO 20022 RMG

ISO 規格「ISO 20022」（ISO/TC 68/SC 9 所管）の登録管理グループ（ISO 20022 RMG）および同傘下グループの SEG 等の動向について、田貝氏（ISO 20022 RMG Convenor）、橋本・杵渕（日本銀行/RMG メンバー）、各 SEG 等のエキスパートから、概要・経緯・足許の進捗状況・今後の作業スケジュールの報告項目について説明がなされた後、討議が行われた。

## 4. リエゾンからの報告

### 4-1. ISO/TC 307（Blockchain and Distributed Ledger Technologies）

ISO/TC 307 国内審議委員会の鈴木委員より、TC 307 の最近の動向について報告が行われた。

### 4-2. ISO/IEC JTC 1<sup>3</sup>/SC 17（Cards and Security Devices for Personal Identification）

ISO/IEC JTC 1/SC 17 国内委員会の廣川委員長より、SC 17 の最近の動向について報告が行われた。

### 4-3. ISO/IEC JTC 1/SC 27（IT Security Techniques）

ISO/IEC JTC 1/SC 27 専門委員会の近澤委員長より、SC 27 の最近の動向について報告が行われた。

### 4-4. ISO/IEC JTC 1/SC 37（Biometrics）

ISO/IEC JTC 1/SC 37 専門委員会の坂本委員長より、SC 37 の最近の動向について報告が行われた。

---

<sup>2</sup> 国際規格の開発には、以下の 6 段階のプロセスがある\*。予備業務項目（PWI: Preliminary Work Item）→ 新業務項目提案（NP: New work item Proposal）→ 作業原案（WD: Working Draft）→ 委員会原案（CD: Committee Draft）→ 国際規格案（DIS: Draft International Standard）→ 国際規格（IS: International Standard）。  
※ 必要に応じて、DIS 投票時におけるコメントを踏まえた最終国際規格案（FDIS: Final Draft International Standard）の投票が実施され、その場合、7 段階のプロセスとなる。

<sup>3</sup> ISO と IEC（International Electrotechnical Commission：国際電気標準会議）との合同技術委員会。

## 5. 事務局からのご連絡

5-1. 委員の異動、リエゾン交代（2022年12月総会以降の変更分、2023年6月1日時点）

5-2. ISO/TC 68 関連論文等の公表のお知らせ

5-3. ISO/TC 68 国内委員会ホームページ更新のお知らせ

5-4. 「ISOの規定・政策等の各種資料」のお知らせ

5-5. 次回総会開催予定

事務局より、前回総会以降のISO/TC 68のWG等新設・解散状況と委員の異動について説明を行った。また、ISO/TC 68 国内委員会ホームページ等で対外公表済みのISO/TC 68 関連論文等を紹介した。次回総会開催予定については、ISO/TC 68 国内委員会総会は2023年12月15日に開催を予定していること、ISO/TC 68 国際会合は2024年5月13日～17日（米国：ミネソタ）、ISO 20022 RMG 国際会合は2023年9月下旬（バーチャル）および2024年5月13日～17日（米国：ミネソタ）で開催される予定であることを連絡した。

### 閉会挨拶

ISO/TC 68 国内委員会委員長の松本横浜国立大学教授が閉会挨拶を行った。

以 上